

10、印刷現場のカラーマネジメント支援プログラム RYOBI CMS Solution の紹介 リョービマジクス株式会社 宮脇 正明

1. はじめに

今日の社会環境はグローバルな大競争時代を迎え、企業は利益を重視した経営への転換を模索しワークフローの改革を進めており、印刷業界においてもその流れは急速に広がっています。印刷会社は、印刷単価の下落、超短納期化、クライアントの高品質要求など、現在の対応すべき多くの課題を解決するため、ワークフローの改革を進めています。

2. 印刷会社におけるカラーマネジメントの実態

印刷会社のひとつの課題として、「いかに印刷物の色品質を維持しクライアントの高品質要求に応えうる商品（製品）にしていくか」ということがクローズアップされてきています。現在、印刷会社における CTP の保有率は増加の一途ですが、自社内で独自に印刷における重要な管理項目である「ベタ濃度」「ドットゲイン」「トラッピング率」などを管理し、マネジメントシステムとして構築されている会社はまだまだ少ないというのが現状ではないでしょうか。また、刷り専門の印刷会社においては、CTP プレートの支給が増加しているが、色の数値化した管理ができていないため、後手後手となり要求に応えられていないケースも多いと聞いています。

このような時代の中、私どもの印刷機の印刷機を導入するにあたり、「カラーマネジメントに関する支援もしてほしい」という要望が強く求められるようになってきています。

3. リョービからの提案

このようなお客様の要望に対応し、リョービはソリューションのひとつとして、印刷現場のカラーマネジメント支援プログラムである「リョービカラーマネジメントサポートサービス PQ-Navi（ピーキューナビ）」でお応えしてまいります。

このサービスは、お客様の作成した印刷物を定期的に診断し、最適な印刷環境・コンディションへ導いてゆくサービスを意味します。まさに、PQ=Printing Quality をナビゲートしていくサービスです。

具体的には、私どもリョービが提供します「PQ-Navi 診断シート」をお客様が保有している印刷機にて印刷を行ってもらい、リョービにて測色計による測色を行い、印刷機の状況を診断します。その際の診断として、「PQ-Navi 診断ソフト」を用い、データを可視化し診断を行います。診断の状況によっては、印刷機の調整サービスを実施し、印刷機を最適なコンディションに改善し、これを繰り返すことで色品質を維持するようにします。

4. トータルソリューションの提供をめざして

リョービは、「Smart Printing Solutions」をコンセプトにトータルソリューションを提供しています。今後も、最新鋭の印刷機の開発・提供を始め、プリプレス商品、フォント、JDF などの最新の関連システム、サービスを提供してまいります。